平成 26 年 3 月 13 日

各　位

会 社 名　　大 阪 瓦 斯 株 式 会 社
代表者名　　代表取締役社長　尾崎　裕
（コード：9532 東証、名証一部）
問合せ先　　広 報 部 長　小 西 池　透
（TEL　06－6205－4515）

2014 年度 大阪ガスグループ経営計画

１．2014 年度の重点課題

2014 年度は、①経済の回復基調を活かし、成長市場における事業拡大の取り組みを加速する年、②明らかになる電力・ガスシステム改革の方向性を踏まえ、エネルギー事業のさらなる進化に取り組む年、③中期計画の初年度として、目指す姿の実現に向けて確かな一歩踏み出す年と位置付け、以下の 3 つを重点課題と位置づけて参ります。

１．ガス事業の強化を推進
２．次なる「事業の柱」の確立
３．事業基盤の強靭化

２．収支計画

2014 年度は、連結の売上高は 1 兆 6,055 億円、営業利益は 995 億円、経常利益は 1,000 億円、当期純利益は 655 億円を計画しています。

	グループ連結			大阪ガス個別		
	2013 年度 見込み（億円）	2014 年度 計画（億円）	増減率 （%）	2013 年度 見込み（億円）	2014 年度 計画（億円）	増減率 （%）
売上高	15,045	16,055	＋6.7	11,935	12,865	＋7.8
営業利益	990	995	＋0.5	590	620	＋5.1
経常利益	1,000	1,000	±0.0	650	675	＋3.8
当期純利益	355	655	＋84.5	210	485	＋131.0
ＳＶＡ	-27	329	---	4	241	---
ＲＯＡ	2.2%	3.8%	---	1.7%	3.7%	---
ＲＯＥ	4.6%	8.2%	---	3.6%	8.1%	---

2013 年度見込みは 2013 年 12 月 20 日発表の業績予想

※ 2014 年度の前提：原油価格（全日本ＣＩＦ価格）　110 ドル　為替レート 105 円
〔2013 年度の予想：原油価格（全日本ＣＩＦ価格）　110 ドル　為替レート 100 円〕

３．ガス販売量・販売電力量計画

2014 年度は、大阪ガス個別のガス販売量で 8,452 百万ｍ^3（2013 年度(見込み)比 0.6%減)、販売電力量で 8,421 百万 kWh（2013 年度(見込み)比 1.2%増）を計画しています。

【ガス販売量（大阪ガス個別)】　　45MJ/㎥換算

家　庭　用	2,215 百万㎥	（＋0.7%）
商・公・医 用	1,461 百万㎥	（▲3.5%）
工　業　用	4,296 百万㎥	（▲0.5%）
他ガス事業者向け	479 百万㎥	（＋3.3%）
ガ ス 販 売 量 合 計	8,452 百万㎥	（▲0.6%）
お客さま数（年度末）	7,162 千件	（＋0.5%）

（連結）　ガス販売量	8,483 百万㎥	（▲0.5%）

【販売電力量】

合計	8,421 百万 kWh（＋1.2%）

（　）内は 2013 年度見込みからの増減率

４．投資計画

2014 年度は、連結では 1,640 億円の投資を計画しています。
なお、大阪ガス個別の設備投資は、540 億円の計画です。

		投資額
既存事業 品質向上投資		520 億円
エネルギー事業	国内	300 億円
	海外	520 億円
ライフ＆ビジネス　ソリューション事業		300 億円
新規事業 拡大投資		1,120 億円
投　資　額　合　計		1,640 億円

（参考：上記のうち）大阪ガス個別での設備投資	540 億円

５．2014～2018 年度 供給計画

（１）ガス需要見通し

2014 年度以降は、家庭用におけるエネファームや業務用における天然ガスコージェネレーションなど分散型エネルギーシステムの普及や燃料転換、加えて 2014 年度開通予定の姫路・岡山ライン沿線の需要開発を見込み、2018 年度のガス販売量は 8,996 百万㎥となる計画です。この間の 5 年間の年平均伸び率は 1.1％です。

（単位：百万ｍ^3、ｍ^3／月、％）

	2013 年度 (平成 25 年度) (実績見込)	2014 年度 (26 年度)	2015 年度 (27 年度)	2016 年度 (28 年度)	2017 年度 (29 年度)	2018 年度 (30 年度)	13～18 年度 年平均 伸び率
家　庭　用	-3.2 2,200	0.7 2,215	-0.5 2,204	-0.2 2,200	-0.4 2,191	-0.3 2,184	-0.2
業 務 用 計	1.3 5,835	-1.3 5,758	1.5 5,841	2.4 5,982	3.0 6,163	1.0 6,221	1.3
商　業　用	-2.1 879	-3.5 848	0.7 854	-0.2 852	-0.2 850	-0.3 848	-0.7
工　業　用	2.3 4,320	-0.5 4,296	1.7 4,369	3.0 4,501	4.1 4,684	1.3 4,746	1.9
公用･医療用	-0.9 636	-3.5 614	0.7 618	1.8 630	-0.2 629	-0.3 627	-0.3
小　　計	0.0 8,035	-0.8 7,973	0.9 8,045	1.7 8,182	2.1 8,353	0.6 8,405	0.9
他ガス事業者へ の 供 給	-1.0 464	3.3 479	19.8 574	0.8 579	1.8 589	0.3 591	4.9
合　　計	0.0 8,499	-0.6 8,452	2.0 8,619	1.6 8,761	2.1 8,942	0.6 8,996	1.1
家庭用１戸当たり販売量	-3.6 31.3	0.3 31.4	-0.7 31.2	-0.3 31.1	-0.4 30.9	-0.3 30.9	-0.3

(注)各欄の左肩は対前年伸び率(％)。販売量は 45MJ/ｍ^{3}で表示しており、届出値(46MJ/ｍ^3)と異なります。各区分で四捨五入しています。

なお、当社の供給区域内における新設工事件数は、以下のように年間約 8 万件から 10 万件の水準で推移するものと見込んでいます。

年度末のお客さま数（取付メーター数）は、2018 年度には約 730 万件となる見込みです。

（単位：千件）

	2013 年度 (平成 25 年度) (実績見込)	2014 年度 (26 年度)	2015 年度 (27 年度)	2016 年度 (28 年度)	2017 年度 (29 年度)	2018 年度 (30 年度)	13～18 年度 年平均 伸び率
新設工事件数	13.7 99	-4.8 94	-4.2 90	-0.7 90	-5.2 85	-2.7 83	-2.0
お客さま数 (年度末)	0.6 7,129	0.5 7,162	0.5 7,199	0.5 7,235	0.5 7,270	0.5 7,303	0.5

（注）左肩は対前年伸び率(％)

（２）原料消費計画

需要の増加により、2018 年度には、ＬＮＧの消費量は 745 万ｔ、ＬＰＧの消費量は 19 万ｔとなる計画です。安定的な供給を確保するため、今後もＬＮＧおよびＬＰＧの確実な調達に努めます。

（単位：千ｔ）

	2013 年度 (平成 25 年度) (実績見込)	2014 年度 (26 年度)	2015 年度 (27 年度)	2016 年度 (28 年度)	2017 年度 (29 年度)	2018 年度 (30 年度)
ＬＮＧ消費量	7,038	7,024	7,114	7,215	7,437	7,448
ＬＰＧ消費量	138	147	170	183	162	185

（３）設備投資計画

将来の需要増に対応した製造能力の増強や、保安・安定供給のための供給設備の入替、地震・津波等の災害を想定した製造・供給設備での対策工事などへの投資を中心に、2014 年度から 2018 年度の累計設備投資額は、2,579 億円となる計画です。

＊金額は各区分で切捨て表示　（単位：億円）

	2013 年度 (平成25年度) (実績見込)	2014 年度 (26 年度)	2015 年度 (27 年度)	2016 年度 (28 年度)	2017 年度 (29 年度)	2018 年度 (30 年度)	14～18 年度 合計
製造設備	61	84	101	119	52	35	393
供給設備	509	372	407	406	373	393	1,953
業務設備	47	77	37	36	24	24	200
附帯事業設備	1	6	15	7	1	1	33
合計	621	540	562	570	451	454	2,579

【主要製造設備計画】

設備名	容量	設置場所	設置年度
ＬＮＧ貯蔵設備	23 万 kl	泉北製造所第一工場	2015 年度（予定）
ＬＮＧ気化器	150t/h ×2 基※	姫路製造所	2016 年度（予定） 2017 年度（予定）

※うち 1 基は、60t/h×2 基の廃止に伴う更新

【主要導管計画】

路線名	総延長	区間	開通年度
姫路・岡山ライン	約 85km	兵庫県姫路市～岡山県岡山市	2014 年度（予定）
第２東部ライン	約 11km	大阪府泉大津市～四条畷市	2018 年度（予定）

以　上